

コレクション拝見

# 新動植物国宝切手の初日カバー

角崎 正則

今回は、今から52年前の1966(昭和41)年7月1日に、それまで14年8ヵ月の間はがき5円封書10円だった料金がはがき7円封書15円に改定されたことに伴い発行された「新動植物国宝切手」を紹介する。

万国郵便連合(U.P.U)の規則により1966(昭和41)年1月からローマ字で国名< NIPPON >の表示をすることになった。

また、1967(昭和42)年に郵便機械化がすすみ、切手の刷色によって種類を分ける自動分類押印機が導入された。これにあわせ、色検知用の枠が付いた改色、改版した切手が発行された。

こののはがき7円、封書15円時代(1966(昭和41)年7月1日~1972(昭和47)年1月31日)5年7ヵ月間の約40余種の切手を初日カバーで紹介します。

なお、さくら日本切手カタログの1966(昭和41)年以降の普通切手の編成が封書金額毎になったのは1995年版からです。

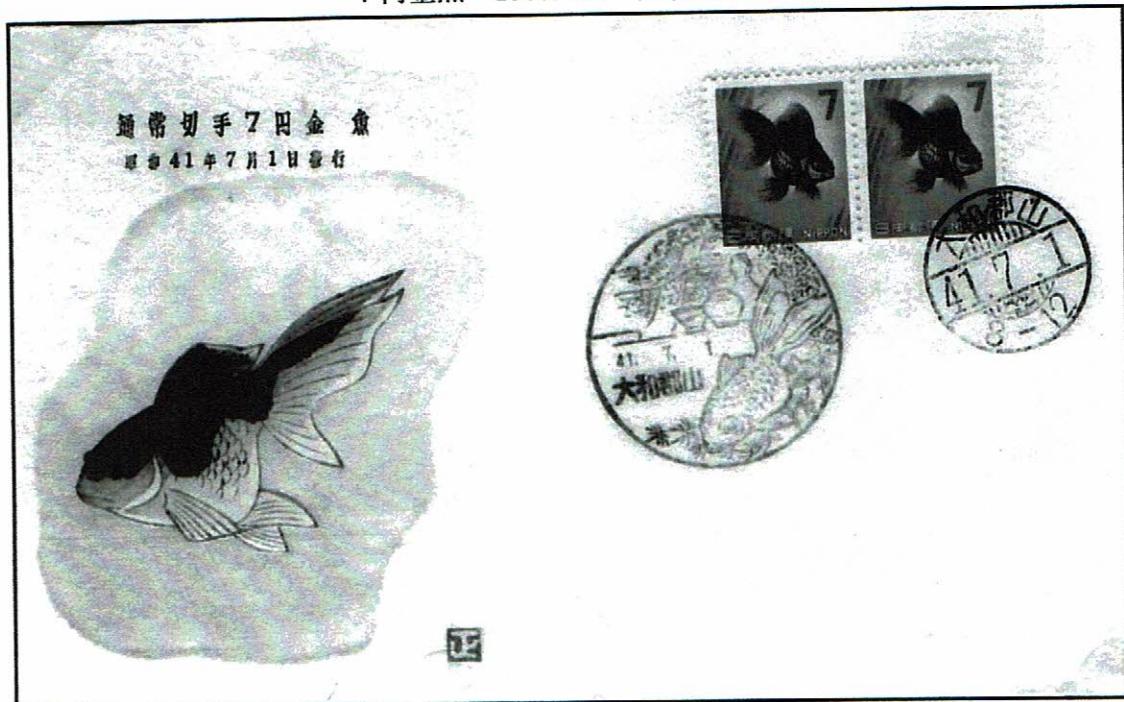
1966年シリーズ(封書15円時期初期)

発行切手 1966.7.18 大宮局



1966年シリーズ（封書15円時期初期）

7円金魚 1966.7.1 大和郡山局

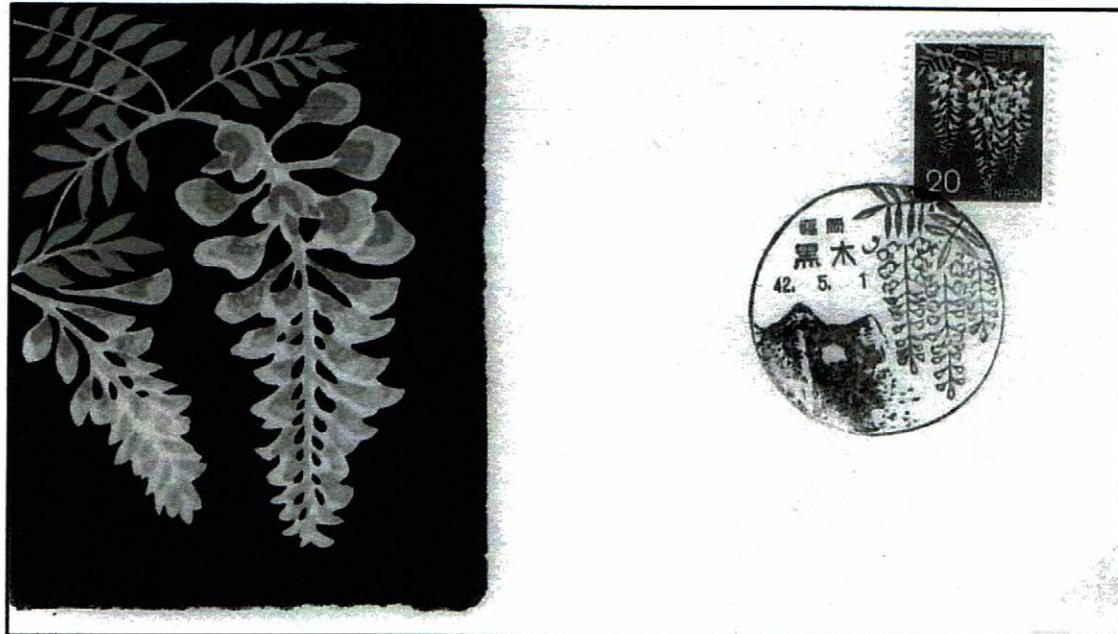


15円菊 1966.7.1 東京中央局

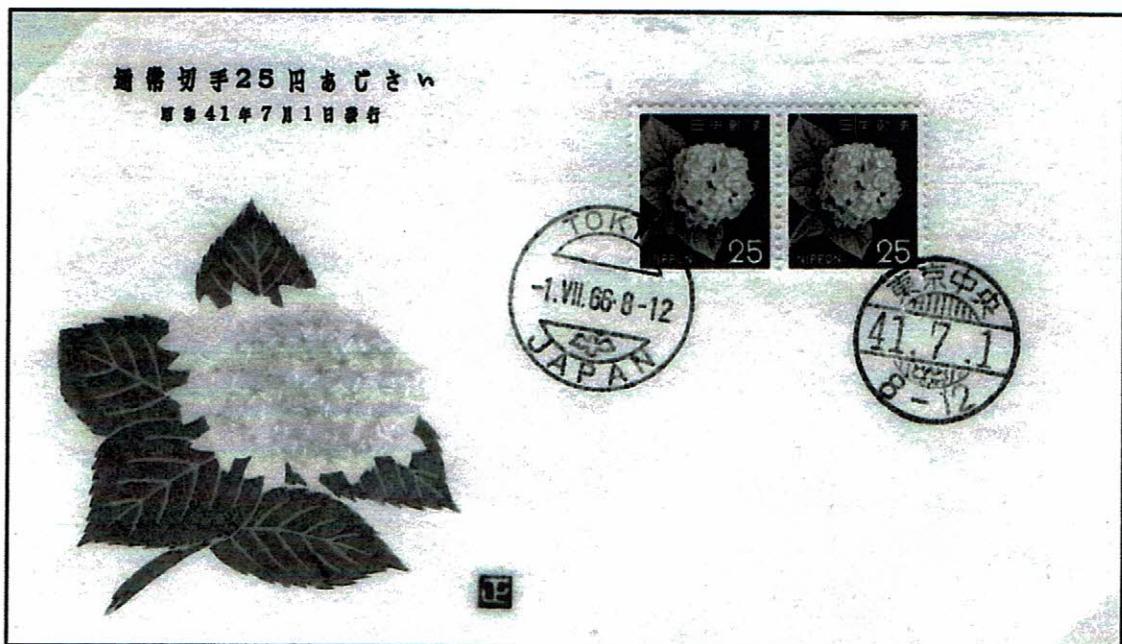


1966年シリーズ（封書15円時期初期）

20円ふじ 1967.5.1 福岡黒木局



25円あじさい 1966.7.1 東京中央局



1966年シリーズ（封書15円時期初期）

120円中尊寺けまん 1966.12.20 平泉局

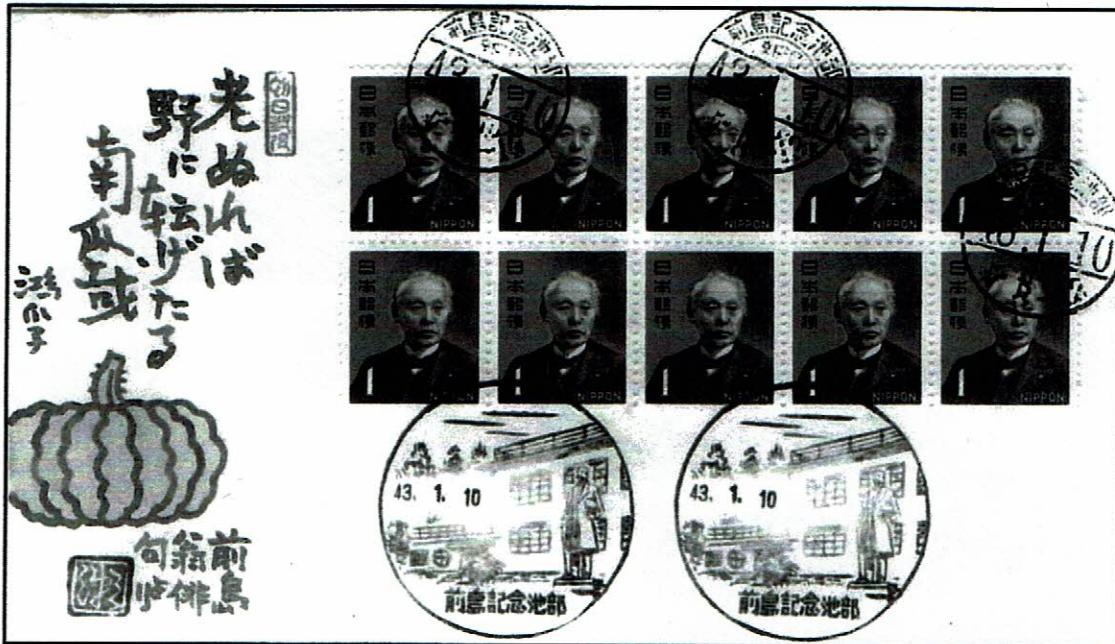


200円音声ばさつ 1966. 6. 20 奈良局



1967年シリーズ（封書15円時期・色検知導入後）

1円前島密 1968.1.10 東京中央局

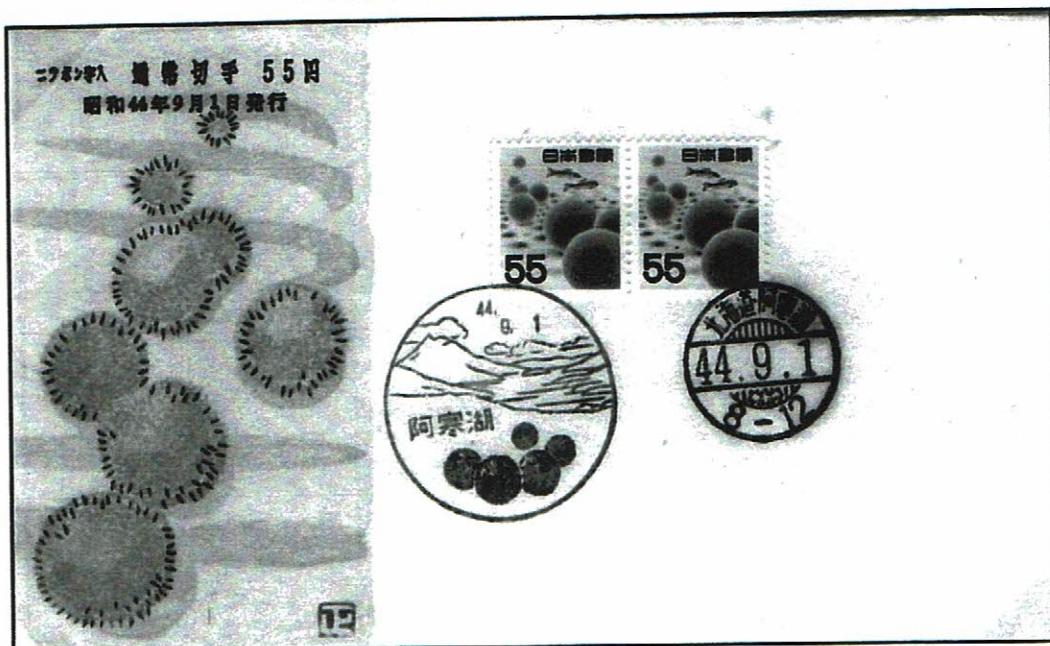


3円ほととぎす 1971.7.15 東京中央局



1967年シリーズ（封書15円時期・色検知導入後）

55円まりも 1969. 9. 1 阿寒湖局



3円ほどとぎす切手帳ページ 1972. 1. 31 東京中央局

